

SOCIAL WELFARE CORPORATION SHINWAKAI

ANNUAL REPORT

Haburepo 2025

この街に生まれて、二十年。



Annual Report

2024 年度 事業報告
(2024.04.01-2025.03.31)

2025 年度 事業計画
(2025.04.01-2026.03.31)

信和会は二十歳になりました。

2024年9月1日、社会福祉法人信和会は設立から20周年を迎えました。これもひとえに、日頃より信和会をご支援くださる皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

この20年を振り返ると、多くの感動や喜び、そして笑顔あふれる出来事が思い出されます。一方で、近年は豪雨による被災や新型コロナウィルス感染症の流行など、さまざまな困難もありました。しかし、その都度スタッフ一丸となってこれらを乗り越えてまいりました。

福祉業界および地域を取り巻く環境は、日々刻々と変化し、将来が見通しにくい時代となっております。だからこそ、「地域が必要としていること」「私たちが今できること」を常に考え、「目の前の一人ひとりに向き合うこと」を大切にしながら、小さな一步でも確実に、未来に向けて歩みを進めてまいります。

多くの方に支えられ、育てていただいた20年。

節目のこの年を迎える改めて心より感謝を申し上げますとともに、これからも皆様や地域社会に貢献し、より一層の恩返しをしてまいります。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

社会福祉法人信和会



20年を振り返る



Nobutsune Nagashima

初代理事長 永嶋信恒と「信の心」

創設者である永嶋信恒（旧姓：武田）は、戦国武将・武田信玄の子孫で、代々「信」の字を名前に受け継いでいます。創設時から使用している信和会のロゴマークは、武田家の家紋をモチーフにしています。信恒は、千葉医科大学（現千葉大学）医学部を卒業後、長南町で「武田医院」を開院し、約53年間、地域医療に貢献しました。当時はまだ救急医療が発達しておらず、携帯電話もない時代。昼夜問わず入る連絡に応じ、信恒は診療時間外でも自転車で患者さまの元へ訪問していました。「すべては患者さまのために」と考え、信恒は奮闘しました。

時が過ぎ、高齢化が進む長南町で、信恒は「医療だけでなく福祉の面からも地域に貢献できないか」と考えるようになります。地域に根差した介護施設を作るために「社会福祉法人信和会」を設立し、「上埴生の郷」拠点を開設しました。「家庭的な施設」とすることが信恒のこだわりでした。この想いが、今日に至るグループホームを中心とした家庭的なサービスの提供と地域に根差した施設運営につながっています。



信和会創設の想いと 上埴生の郷拠点のはじまり



多拠点運営開始

長南町からスタートした信和会ですが、地域福祉の課題解決に取り組んでいく上で、単一の自治体や事業所で捉えるのではなく、広域で考え実践していく必要があると感じ、活動拠点を広げていきます。

現在は長南町・茂原市・大多喜町・市原市と4自治体、6拠点で事業を展開するまでになりました。

多拠点展開により、経営資源の有効活用や災害に強い施設づくりを可能としています。



高齢者介護に限らず他分野で活動

福祉を既存の縦割りの制度で考えるのではなく、多角的な視点から考え地域が必要としているサービスを提供しています。訪問看護や保育園の運営など、これまでのノウハウを活かしつつ、新しいことへの挑戦を続けています。事業の相乗効果により、質・量ともに様々なニーズに応えることができるようになりました。



地域コミュニティの担い手として

現在、信和会の活動は事業所の中だけに留まらず、地域社会に広がっています。「多世代交流」「地域に開かれた福祉」をキーワードに、従来の福祉のイメージに捉われない様々な活動を行なっています。地域のハブ（中心）としての役割を担い、福祉の視点から希薄になりつつある人と人とのつながりを再構築することで、これから時代の新しい暮らしのカタチを提案していきたいと考えています。その為に日々のケアを通じて、明日の福祉のあり方を変え、地域の皆様の暮らしを良くしていきます。信恒の「信の心」を忘れず、私たちに関わるすべての人たちとともに、これからも歩み続けてまいります。



2024年は、なんといっても大谷翔平選手の活躍が素晴らしかったですね。本塁打王と打点王を獲得し、ワールドチャンピオンにもなりましたから、名実ともに世界一の野球選手になられたのではないでしょうか。

あるドラマを視聴していた際、「順に居て逆を忘れず、逆に居て己を捨てず」という言葉が引用されていました。投資格言で、順調なときほど逆のリスクを考え、不調なときでも冷静な判断を失わないことが大事だということだそうです。

認知症ケアにおいても、関係がうまくいっているときはその関係が続くと油断してしまうことがあります。しかし、関係がうまくいかなくなったとき、突然の変化に対応できなかったり、感情的になりすぎると、本来築けるはずの関係を失ってしまうこともあります。どんな状況でも冷静に判断し、将来の変化を見据えて行動することの大切さを改めて実感させられました。

変化の激しい現代社会で、誰かの役に立ちたいと思い、私たちは事業を行なっています。これからも柔軟な発想を持ち、多くの方に応援していただける社会福祉法人を目指して、邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2025年7月
社会福祉法人信和会
理事長 杉田大樹



法人概要

法人名称	社会福祉法人信和会
法人番号	9040005011294
設立	2004年9月1日
主たる事務所	〒297-0121 千葉県長生郡長南町長南 1980-2 TEL : 0475-40-5777 FAX : 0475-40-5225
理事長	杉田大樹
理事	村岡紀幸 カレンロバート 榎澤樹 高柳妙子 杉田愛
監事	羽生直剛 古市達弥
評議員	三星千絵 西田雅人 濱澤茂 鎌田貴雅 高橋虎太郎 中村友紀 飯田哲平
法律顧問	弁護士法人おかげさま 代表弁護士 外岡潤
事業の種類	<p>(1) 第二種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人デイサービスセンターの経営 ・認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・一時預かり事業の経営 ・病児保育事業の経営 ・老人居宅介護等事業の経営 <p>(2) 公益を目的とする事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業 ・無料または低額な料金で子どもの学習を支援する事業 ・訪問看護事業 ・企業主導型保育事業の経営 ・サービス付き高齢者向け住宅事業の経営 ・子どもの居場所づくり事業 <p>(3) 収益を目的とする事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産賃貸業

ステークホルダー紹介



英国人の父と日本人の母の間に生まれ、5歳からサッカーをはじめる。3年連続で全国選手権に出場した市立船橋高等学校を経て 2004年にジュビロ磐田入団。2005年、Jリーグ新人王を獲得。2007年U-22日本代表選出。2010年にオランダリーグのVVVフェンロに完全移籍し活躍。ヨーロッパ1部リーグで10番を付けた数少ない日本人選手。2014年3月にサッカー都道府県リーグ1部に所属する「房総ローヴァーズ木更津FC」を設立。「人と地域をスポーツで繋ぐ」をビジョンに千葉県でサッカーコートやスクール運営、廃校活用といった地域活性化の取り組みを行っている。「地域を元気に。子どもたちが夢を叶えられる環境をつくりたい。」という想いが信和会と一致。信和会とスポンサー契約を開始し、長生郡の小中学生へ向けたサッカー教室の開催を行なう。2021年に信和会のファミリークラブあかね雲開設に伴い、同敷地内にて「ローヴァーズスポーツパーク茂原」を開設。以降「福祉×スポーツ」をコンセプトに多世代を繋ぐ様々な取り組みを協働で実施している。

ローヴァーズ株式会社 代表取締役社長
社会福祉法人信和会 理事
カレン ロバート

事業所一覧

01 長南町拠点



デイサービスセンター上埴生の郷
居宅介護支援センター上埴生の郷

〒297-0121
千葉県長生郡長南町長南 1980-2
TEL : 0475-40-5777
FAX : 0475-40-5225

グループホーム上埴生の郷

〒297-0121
千葉県長生郡長南町長南 1980-2
TEL : 0475-40-5777
FAX : 0475-40-5225



グループホーム紅ばな

〒297-0121
千葉県長生郡長南町長南 1979-1
TEL : 0475-40-5777
FAX : 0475-40-5225

03 大多喜町拠点

グループホーム風鈴花
グループホーム風鈴花おおたき

〒298-0206
千葉県夷隅郡大多喜町横山 1032-1
TEL : 0470-62-6301
FAX : 0470-62-6302



04 市原市拠点



グループホームひと結び
ヘルパーステーションひと結び
巡回ステーションひと結び

〒290-0167
千葉県市原市喜多 823-1
TEL : 0436-26-5033
FAX : 0436-26-5595



02 茂原市拠点

グループホームあかね雲
〒297-0026
千葉県茂原市茂原 541-17
TEL : 0475-47-2002

杉の子保育園

〒297-0024
千葉県茂原市八千代 2-6-1
TEL : 0475-44-4776
FAX : 0475-44-4778



ファミリークラブあかね雲
居宅介護支援センターあかね雲
ヘルパーステーションあかね雲
TEL : 0475-44-5920
FAX : 0475-44-5930

訪問看護ステーションあかね雲
TEL : 0475-47-2436
FAX : 0475-47-2022

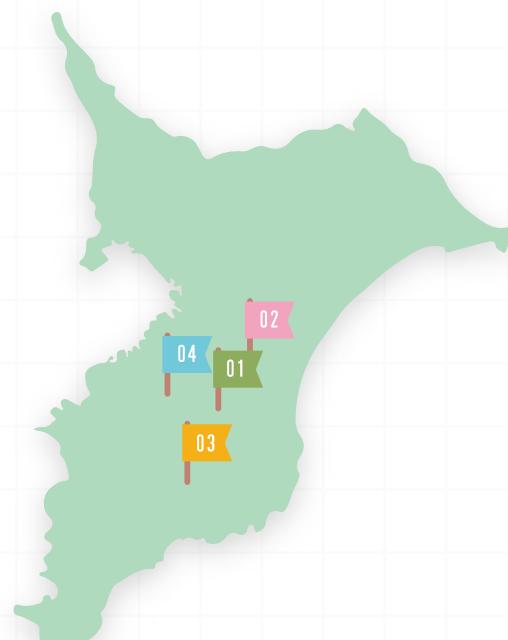
〒297-0067
千葉県茂原市国府関 1683-6

デイサービスセンターあかね雲
TEL : 0475-36-2760
FAX : 0475-36-3120



杉の子 kids もばら
TEL : 080-7618-7329

〒297-0067
千葉県茂原市国府関 1683-7



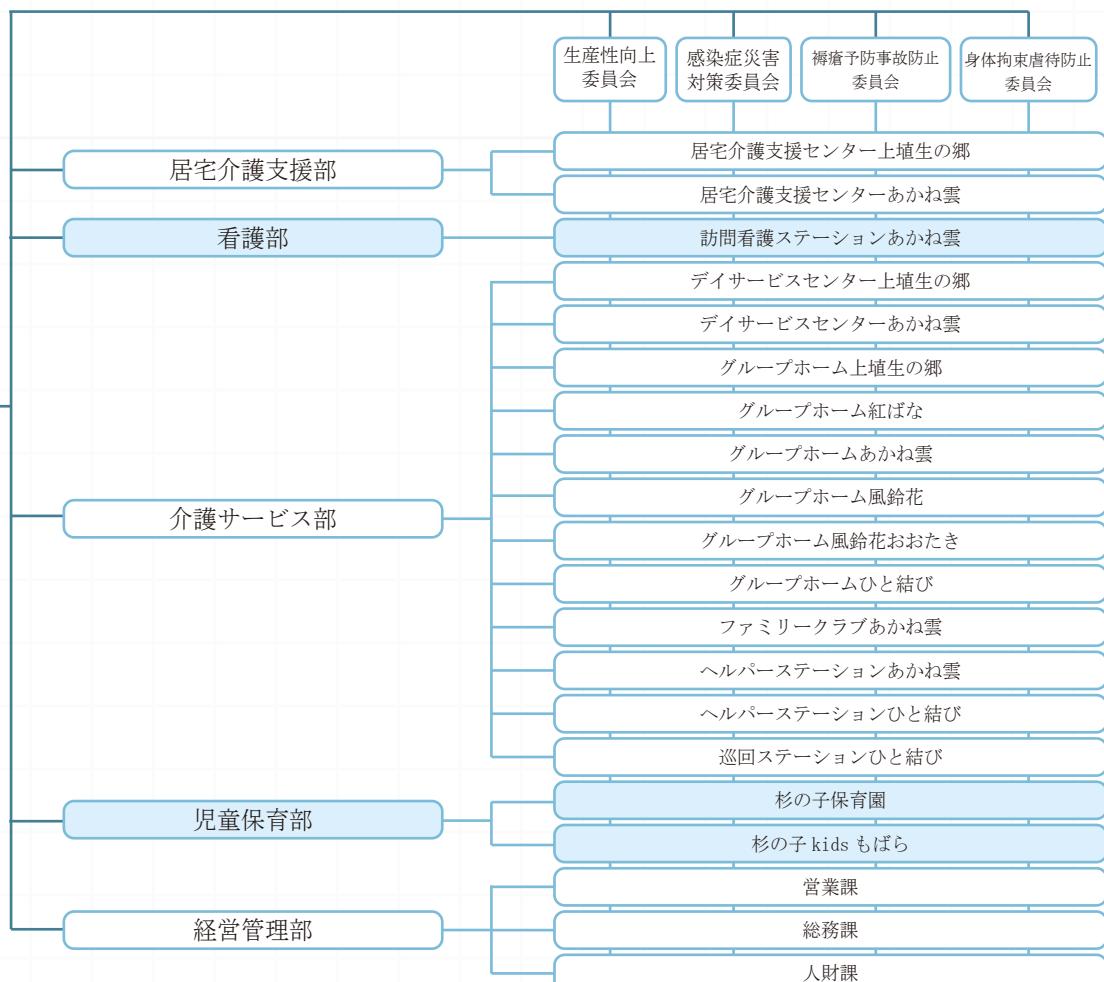
沿革

2004年 9月	社会福祉法人信和会 設立
2005年 7月	デイサービスセンター上埴生の郷 開設 居宅介護支援センター上埴生の郷 開設
2005年 8月	グループホーム上埴生の郷 開設
2010年 12月	グループホームあかね雲 開設
2011年 4月	グループホーム紅ばな 開設
2012年 5月	グループホーム風鈴花 開設
2013年 7月	居宅介護支援センターあかね雲 開設
2014年 4月	グループホーム風鈴花おおたき 開設
2019年 7月	訪問看護ステーションあかね雲 開設
2019年 10月	企業主導型保育園 杉の子保育園 開設
2021年 3月	サービス付き高齢者向け住宅 ファミリークラブあかね雲 開設
2021年 4月	ヘルパーステーションあかね雲 開設
2021年 5月	居宅介護支援センターあかね雲 茂原市国府閥へ移転
2023年 4月	訪問看護ステーションあかね雲 茂原市国府閥へ移転
2023年 5月	グループホームひと結び 開設 ヘルパーステーションひと結び 開設 巡回ステーション ひと結び 開設
2023年 6月	子ども第三の居場所 杉の子 kids もばら 開設
2023年 7月	デイサービスセンターあかね雲 開設



組織図

監事
理事会
理事長
評議員会





信和会成人祭&杉の子まつり開催

法人設立 20 周年を記念し、各事業所毎に「信和会成人祭」を実施いたしました。ご家族様を施設へご招待し、利用者様の日常生活の様子をご覧いただきながら、利用者様と一緒に催し物や食事づくりを行ないました。

また別の事業所では、利用者様の行きたい場所ややりたいことを叶える外出レクを実施し、各事業所のカラーが反映された華やかなイベントとなりました。

夏には、新卒入職 1 ~ 3 年目の職員が企画実施した「杉の子まつり」が開催されました。

暑さを吹き飛ばすウォーターサバゲー や大迫力の VR ゲーム体験、色々とりどりの縁日や食欲が止まらないキッチンカー、豪華景品が目白押しの抽選会など、大盛り上がりの一日となり、子どもたちに夏休み最後の思い出を提供することができました。

今後も信和会では、地域に開かれたイベント活動を通じて、「福祉」を皆さんにとってもっと身近なものにしてまいります。そして利用者様、ご家族様、地域の方々、関係業者様、スタッフ、すべての方が自分らしく、楽しみと生きがいをもって過ごせる場を提供していきます。



スポーツの力で千葉を活性化 「AMBITION for CHIBA」始動

「AMBITION for CHIBA」は、元サッカー日本代表として、世界で活躍した羽生直剛氏が代表を務める AMBITION22 を中心に、千葉のスポーツチーム・アスリート・企業・地域がつながり「スポーツ」と「ビジネス」の力を最大限に掛け合わせることで、これまでにない新たな価値を共創し、千葉の更なる活性化を目指すプロジェクトです。

スポーツチームからは、ジェフユナイテッド市原・千葉、VONDS 市原、房総ローヴァーズ木更津 FC、オルカ鴨川 FC、T2 surf academy が参画。企業からは株式会社みらいきれい、そして、私たち社会福祉法人信和会が「AMBITION for CHIBA」に参画いたしました。

信和会では、これまでにも羽生氏より、多彩なプロ経験と故イビチャ・オシム監督から学んだ哲学に基づいたリーダーシップ研修の実施など、組織開発やコーチングに携わっていただいており、更なる連携強化を図っていきます。

今後の「AMBITION for CHIBA」の活動にご期待ください。



杉の子保育園 完全自法人運営開始

2019年に企業主導型保育園として開設し、地域の皆様とスタッフの仕事と子育ての両立支援を行なってきた杉の子保育園。これまで月極保育については、業務の一部を外部委託しておりましたが、一時預かり保育・病児保育に加え、月極保育においても完全自法人運営として、サービス提供を開始しました。

開設から培ってきた保育ノウハウを活かしながら、これまで以上に子どもたち一人ひとりの個性を尊重し伸ばしていく、家庭的でキッズファーストなサービスを提供してまいります。



組織体制の強化 ユニットリーダーを配置

既存の事業所運営の向上と今後の事業拡大を見据え、管理体制を更に強化していく為、新たに各施設長職直下の管理ポジションとして「ユニットリーダー」職を新設し、4名を任命いたしました。

若手人材を積極的に登用することで、福祉に新たな価値観を取り入れるとともに、法人の明日を担うリーダー人材の育成を行なっていきます。

4名のこれからの成長と更なる活躍に期待しています。

委員会活動の取り組み

持続的かつ安全でより良いサービス提供を進めていく為、日々の事業所運営の他に「生産性向上委員会」「感染症災害対策委員会」「褥瘡予防事故防止委員会」「身体拘束虐待防止委員会」の4つの委員会を新たに編成設置し、活動を行なっています。

それぞれの委員会では、事業所や職種の垣根を超えて、各分野のスペシャリストたちが業務効率化や改善、災害や感染症に強い施設づくり、ケアの質向上に向けて、定例会での意見交換や研修などを実施しています。



GH ひと結び
ユニットリーダー
大村 あかり

FC あかね雲
ユニットリーダー
宮原 駿平

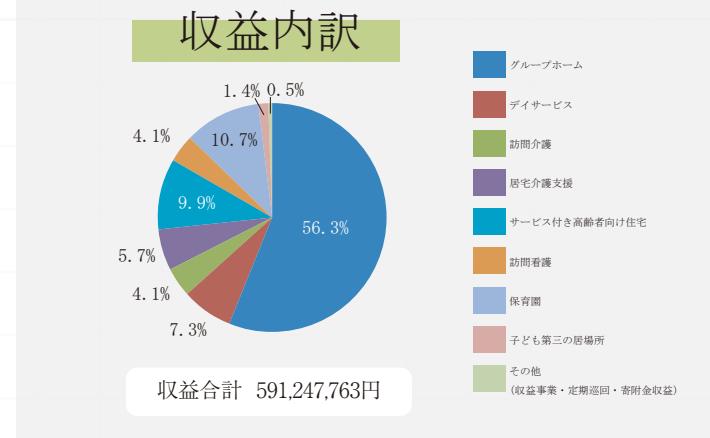
GH 風鈴花・風鈴花おおたき
ユニットリーダー
伊藤 洋之

GH 上埴生の
ユニットリーダー
東 瑞稀

財務情報

2024年度 財務ダイジェスト

法人全体におけるサービス活動収益（売上高）は、前期比約6.0%増の591,247,763円となりました。2023年度に開設したグループホームひと結び・デイサービスセンターあかね雲・杉の子kidsもばらの3事業所が順調に収益を伸ばした一方、2024年4月の介護報酬改定における訪問介護の基本報酬引き下げのあおりを受けたこともあり、ヘルパーステーションひと結びは2024年12月をもって休止となりました。他、前年度から入居者数を回復させたグループホーム風鈴花・風鈴花おおたきで增收、反対に入居者数が減少となったグループホームあかね雲・ファミリークラブあかね雲で減収となりました。



資金収支計算書

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	介護保険事業収入	451,915,800	449,237,554	2,678,246
	老人福祉事業収入	60,728,000	58,621,585	2,106,415
	保育事業収入	62,959,000	63,054,755	△ 95,755
	医療事業収入	11,154,000	9,349,477	1,804,523
	日本財団助成金収入	8,981,000	8,085,420	895,580
	経常経費寄附金収入	27,000	153,321	△ 126,321
	受取利息配当金収入	12,000	31,911	△ 19,911
	その他の収入	5,886,010	5,727,153	158,857
	事業活動収入計(1)	601,662,810	594,261,176	7,401,634
支出	人件費支出	391,851,780	391,641,660	210,120
	事業費支出	88,258,269	86,284,815	1,973,454
	事務費支出	75,584,367	73,524,729	2,059,638
	支払利息支出	3,991,794	3,991,794	0
	事業活動支出計(2)	559,686,210	555,442,998	4,243,212
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	41,976,600	38,818,178	3,158,422
	施設整備等補助金収入	57,581,000	57,581,000	△ 73,000
施設整備等による収支	固定資産売却収入	0	73,000	100,000
	その他の施設整備等による収入	2,000,000	1,900,000	100,000
	施設整備等収入計(4)	59,581,000	59,554,000	27,000
	設備資金借入金元金償還支出	35,360,800	35,360,800	0
支出	固定資産取得支出	6,121,380	7,486,290	△ 1,364,910
	固定資産除却・廃棄支出	30,000	42,100	△ 12,100
	その他の施設整備等による支出	1,900,000	1,950,000	△ 50,000
	施設整備等支出計(5)	43,412,180	44,839,190	△ 1,427,010
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	16,168,820	14,714,810	1,454,010
	その他の活動による収入	583,333	583,333	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	583,333	583,333	0
	長期運営資金借入金元金償還支出	13,033,000	13,033,000	0
	その他の活動支出計(8)	13,033,000	13,033,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 12,449,667	△ 12,449,667	0
	予備費支出(10)	0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		45,695,753	41,083,321	4,612,432
前期末支払資金残高(12)		168,547,597	168,547,597	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		214,243,350	209,630,918	4,612,432

事業活動計算書

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	449,237,554	417,489,388	31,748,166
	老人福祉事業収益	58,621,585	64,969,161	△ 6,347,576
	保育事業収益	63,054,755	58,271,773	4,782,982
	医療事業収益	9,349,477	7,107,931	2,241,546
	日本財團助成金収益	8,085,420	7,074,994	1,010,426
	経常経費寄附金収益	153,321	35,267	118,054
	その他の収益	2,745,651	2,865,051	△ 119,400
	サービス活動収益計(1)	591,247,763	557,813,565	33,434,198
	人件費	391,501,660	369,362,014	22,139,646
費用	事業費	86,284,815	82,839,615	3,445,200
	事務費	73,524,729	90,681,062	△ 17,156,333
	減価償却費	45,832,429	43,847,579	1,984,850
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 10,863,612	△ 10,514,281	△ 349,331
	サービス活動費用計(2)	586,280,021	576,215,989	10,064,032
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,967,742	△ 18,402,424	23,370,166
	受取利息配当金収益	31,911	654	31,257
サービス活動外増減の部	その他のサービス活動外収益	2,981,502	7,545,239	△ 4,563,737
	サービス活動外収益計(4)	3,013,413	7,545,893	△ 4,532,480
	支払利息	3,991,794	3,895,517	96,277
	その他のサービス活動外費用	0	85,076	△ 85,076
	サービス活動外費用計(5)	3,991,794	3,980,593	11,201
収益	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 978,381	3,565,300	△ 4,543,681
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,989,361	△ 14,837,124	18,826,485
	施設整備等補助金収益	57,581,000	0	57,581,000
	固定資産売却益	73,000	114,185	△ 41,185
特別増減の部	特別収益計(8)	57,654,000	114,185	57,539,815
	固定資産売却損・処分損	590,549	35,003	555,546
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△ 1,305,003	1,305,003
	国庫補助金等特別積立金積立額	57,581,000	0	57,581,000
	特別費用計(9)	58,171,549	△ 1,270,000	59,441,549
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 517,549	1,384,185	△ 1,901,734
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		3,471,812	△ 13,452,939	16,924,751
法人税・住民税及び事業税(12)		0	90,700	△ 90,700
当期活動増減差額(13)=(11)-(12)		3,471,812	△ 13,543,639	17,015,451
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(14)	226,065,728	239,609,367	△ 13,543,639
	当期末繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	229,537,540	226,065,728	3,471,812
	基本金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金積立額(18)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)-(18)	229,537,540	226,065,728	3,471,812

財務情報

貸借対照表

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	216,248,675	181,050,368	35,198,307	流動負債	89,141,157	84,580,171	4,560,986
現金預金	78,342,302	96,870,517	△ 18,528,215	事業未払金	4,444,845	3,479,130	965,715
事業未収金	79,922,209	80,850,961	△ 928,752	その他の未払金	0	3,639,853	△ 3,639,853
未収補助金	57,402,000	1,724,000	55,678,000	役員等短期借入金	0	31,000	△ 31,000
立替金	220,224	180,248	39,976	1年以内返済予定設備資金借入金	35,200,800	35,360,800	△ 160,000
前払費用	361,940	1,424,642	△ 1,062,702	1年以内返済予定期運営資金借入金	23,654,000	12,908,000	10,746,000
				預り金	740,224	781,526	△ 41,302
				職員預り金	728,088	3,723,862	△ 2,995,774
				前受金	704,600	847,400	△ 142,800
				賞与引当金	23,668,600	23,808,600	△ 140,000
固定資産	1,172,908,900	1,212,386,821	△ 39,477,921	固定負債	706,240,400	765,270,200	△ 59,029,800
基本財産	528,887,991	547,335,732	△ 18,447,741	設備資金借入金	457,703,400	492,904,200	△ 35,200,800
土地	104,112,257	104,112,257	0	長期運営資金借入金	239,815,000	263,594,000	△ 23,779,000
建物	424,775,734	443,223,475	△ 18,447,741	長期預り金	8,722,000	8,772,000	△ 50,000
その他の固定資産	644,020,909	665,051,089	△ 21,030,180	負債の部合計	795,381,557	849,850,371	△ 54,468,814
土地	65,540,800	65,540,800	0	純資産の部			
建物	531,812,386	547,906,610	△ 16,094,224	基本金	48,144,815	48,144,815	0
構築物	11,500,657	10,874,682	625,975	第1号基本金	48,144,815	48,144,815	0
車両運搬具	9,656,994	12,347,249	△ 2,690,255	国庫補助金等特別積立金	316,093,663	269,376,275	46,717,388
器具及び備品	14,031,002	16,588,026	△ 2,557,024	その他の積立金	0	0	0
権利	1,396,615	1,500,465	△ 103,850	次期繰越活動増減差額	229,537,540	226,065,728	3,471,812
ソフトウェア	484,671	112,140	372,531	(うち当期活動増減差額)	3,471,812	△ 13,543,639	17,015,451
退職共済預け金	984,450	984,450	0				
長期前払費用	7,583,334	8,166,667	△ 583,333				
出資金	10,000	10,000	0	純資産の部合計	593,776,018	543,586,818	50,189,200
その他の固定資産	1,020,000	1,020,000	0				
資産の部合計	1,389,157,575	1,393,437,189	△ 4,279,614	負債及び純資産の部合計	1,389,157,575	1,393,437,189	△ 4,279,614

主な経営指標

経営指標	算式	参考指標	法人全体	グループホーム	デイサービス	訪問介護	居宅介護支援	サービス付き高齢者向け住宅	訪問看護	保育園	子ども第三の居場所
人件費率	=人件費 ÷サービス活動収益	※3	66.9%	66.2%	57.4%	69.4%	118.2%	79.4%	25.8%	86.9%	53.2%
経費率	=経費(※1) ÷サービス活動収益	※4	24.5%	27.0%	17.5%	29.9%	9.8%	5.9%	42.3%	18.5%	40.9%
△事業比率	=事業費 ÷サービス活動収益	※3	15%	14.6%	13.1%	23.8%	7.6%	2.1%	32.3%	12.5%	9.2%
△事務比率	=事務費 ÷サービス活動収益	※3	10.5%	12.4%	4.4%	6.0%	2.1%	3.9%	10.0%	5.9%	31.7%
減価償却费率	= (減価償却費 -国庫補助金等特別積立金取崩額) ÷サービス活動収益	※3	6.8%	5.9%	3.7%	10.7%	3.7%	0.1%	23.9%	1.6%	2.0%
経常収益対支払利息率	=支払利息 ÷経常収益(※2)	※4	0.4%	0.7%	0.3%	0.6%	-	-	2.8%	-	-
現金預金対事業活動支出比率	=現金預金 ÷(事業活動支出計÷12)	※3	4.1か月	1.7か月	-	-	-	-	-	-	-
流動比率	=流動資産÷流動負債	※3	318%	242.6%	-	-	-	-	-	-	-
固定長期適合率	=固定資産 ÷(自己資本+固定負債)	※3	82.8%	90.2%	-	-	-	-	-	-	-
サービス活動増減差額率 (営業利益率)	=サービス活動増減差額 ÷サービス活動収益	※3	1.55%	0.8%	21.4%	-10.0%	-31.6%	14.6%	8.0%	-7.0%	3.8%
経常増減差額率 (経常利益率)	=経常増減差額 ÷サービス活動収益	※3	2%	0.7%	21.6%	-10.3%	-31.6%	14.6%	5.4%	-6.1%	4.0%

※1 経費=事業費+事務費

※2 経常収益=サービス活動収益+サービス活動外収益

※3 「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2024年度版)」(WAM NET)

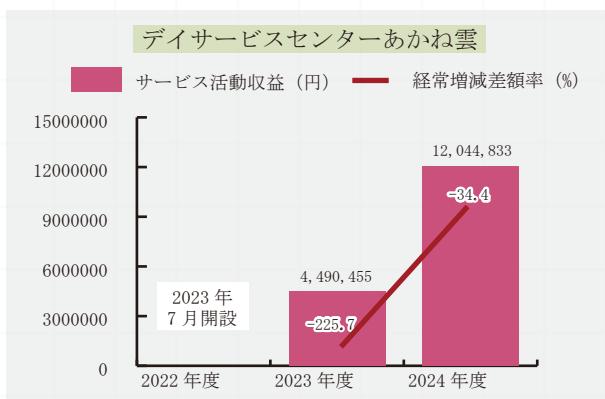
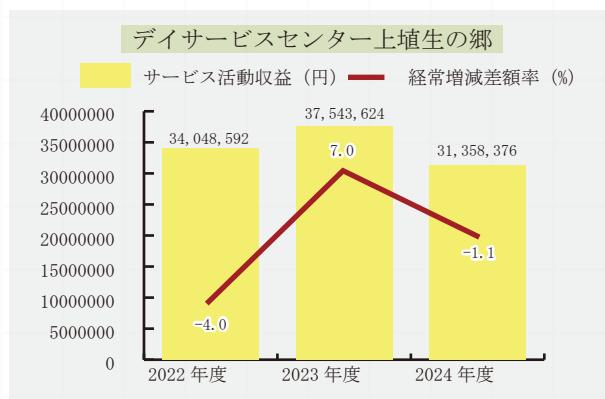
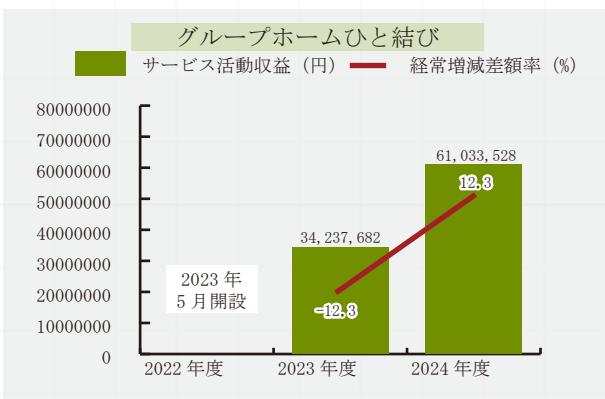
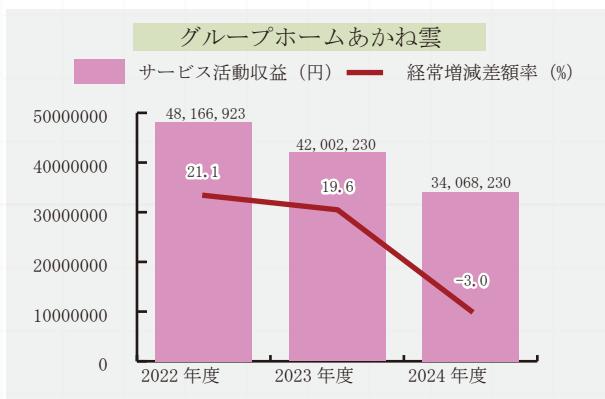
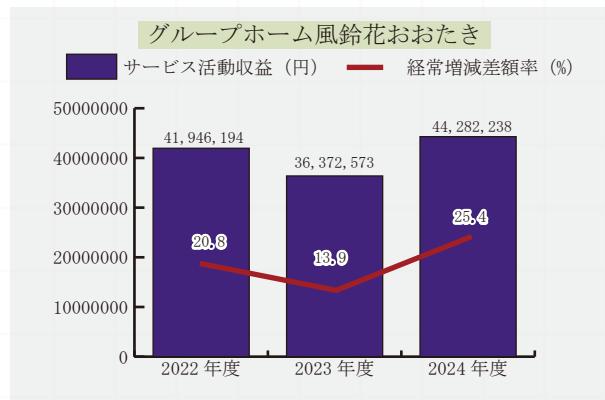
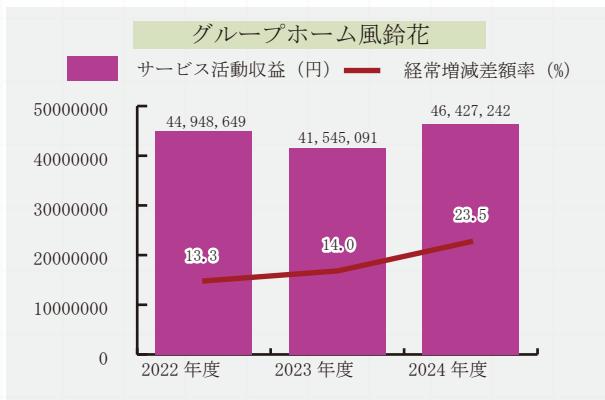
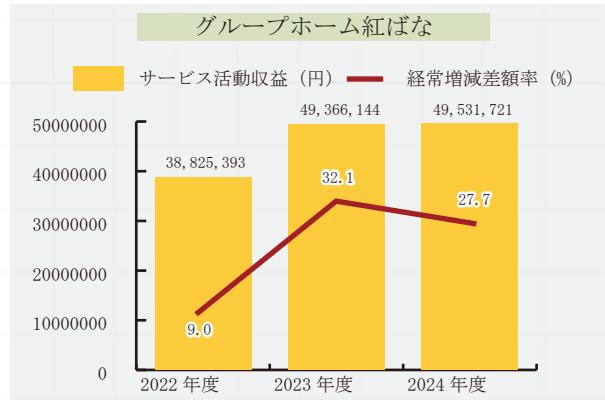
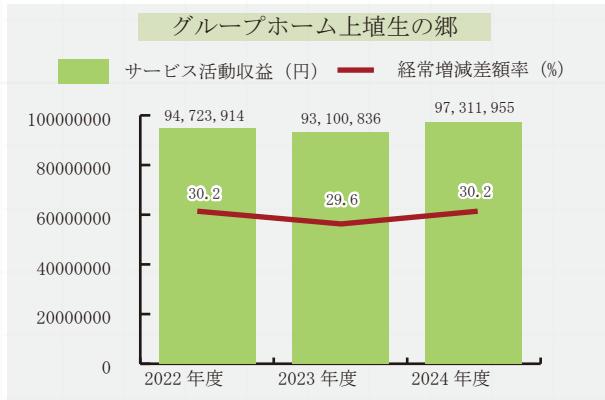
※4 「2023年度 社会福祉法人の経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構)

※5 「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2024年度版)」(WAM NET)

財務情報

グループホーム

デイサービス



財務情報

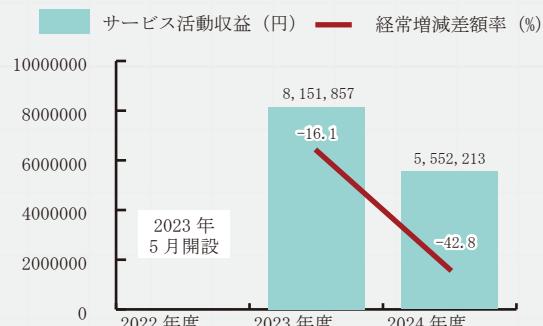
訪問介護

居宅介護支援

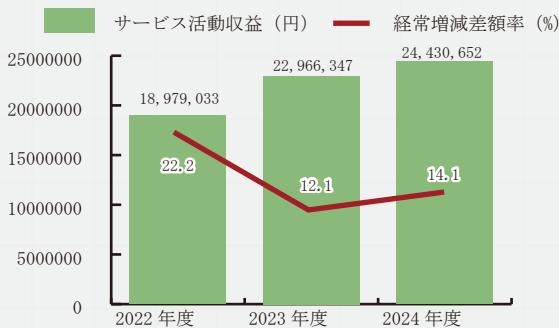
ヘルパーステーションあかね雲



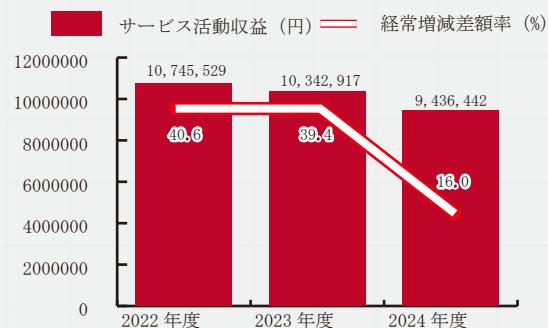
ヘルパーステーションひと結び



居宅介護支援センター上埴生の郷

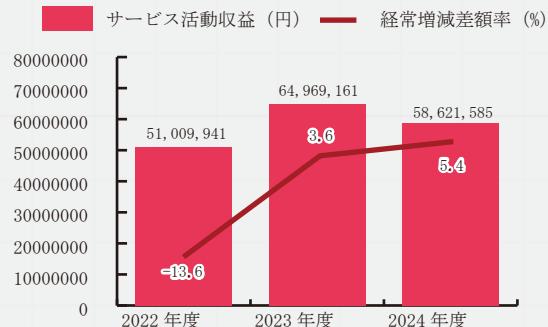


居宅介護支援センターあかね雲



サービス付き高齢者向け住宅

ファミリークラブあかね雲



訪問看護ステーションあかね雲



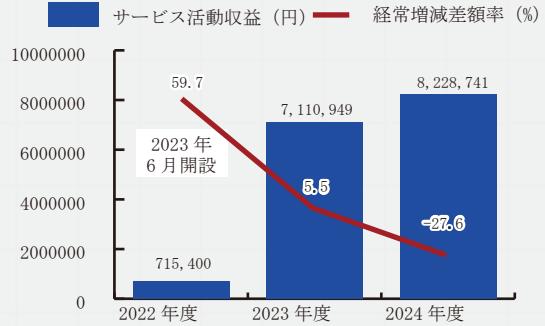
保育園

杉の子保育園

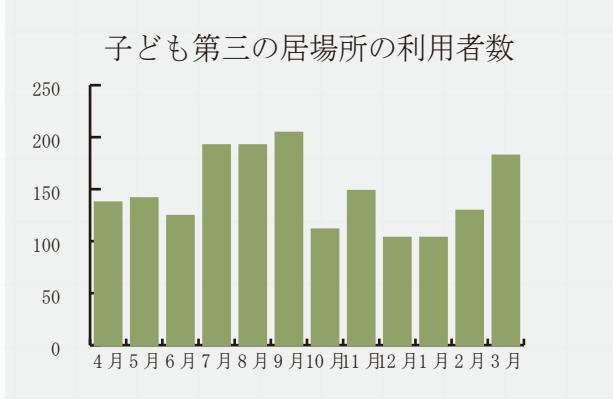
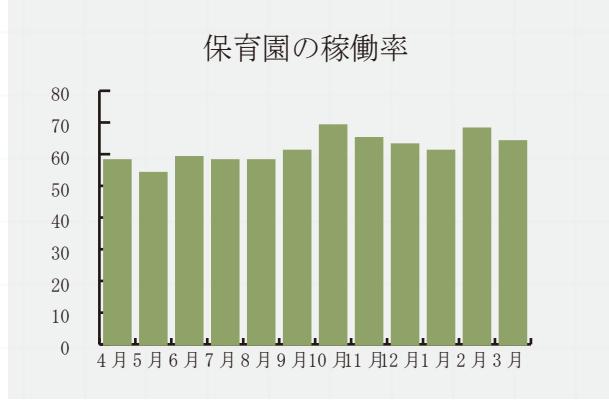
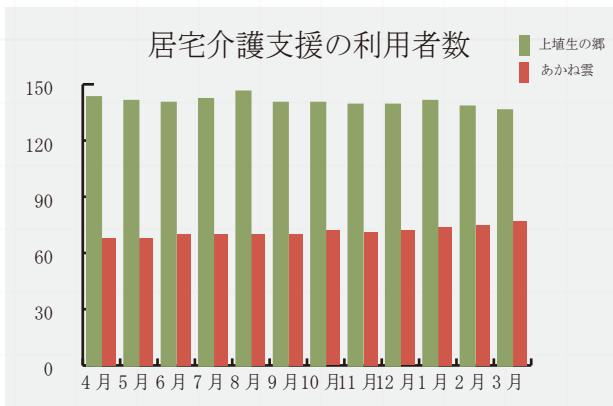
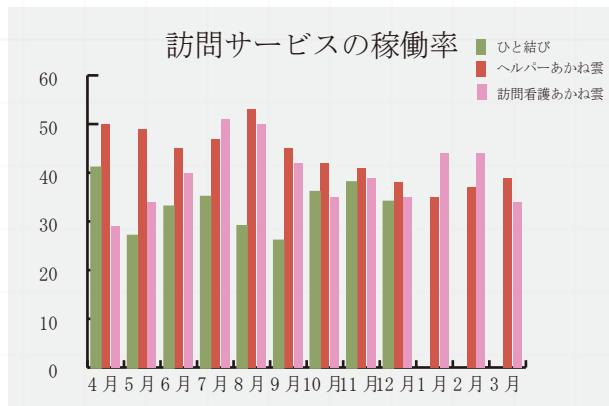
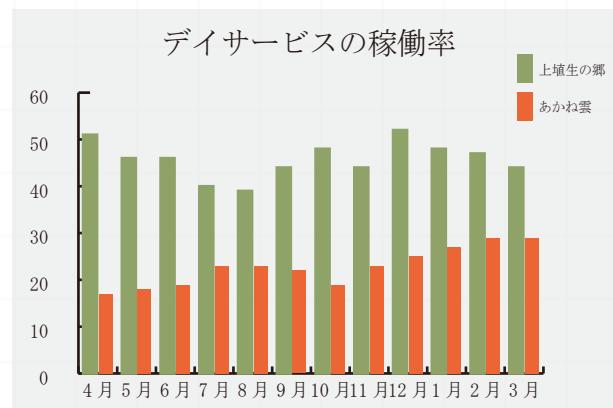
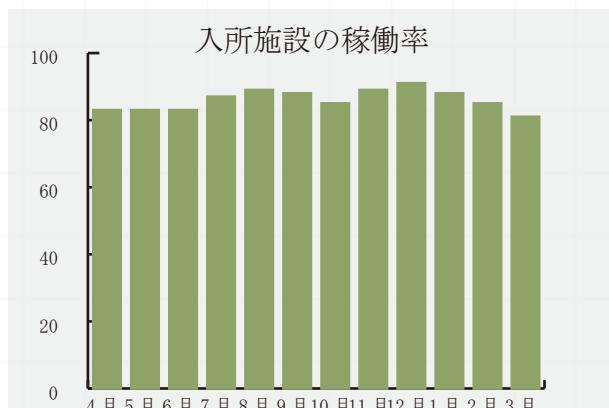
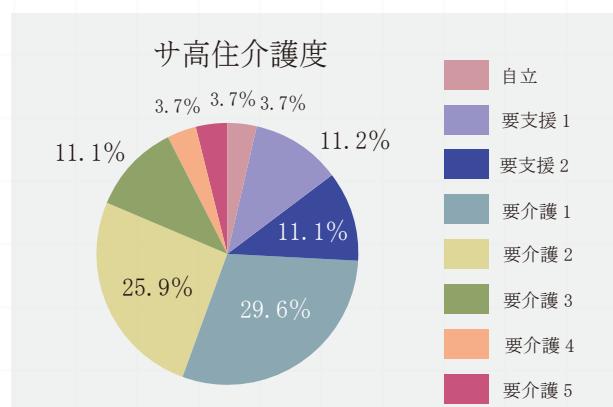
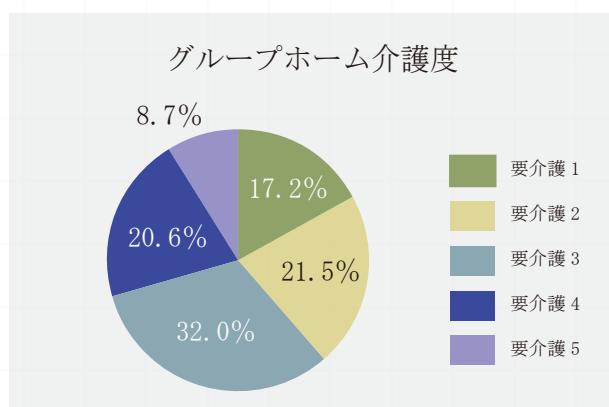


子ども第三の居場所

杉の子 kids もばら

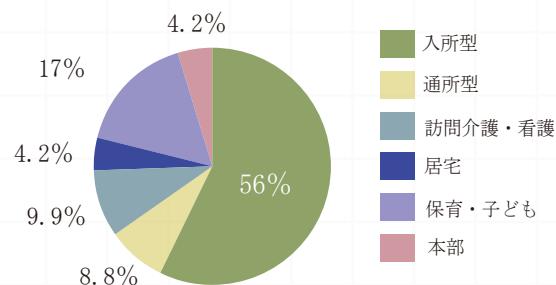


利用者様情報

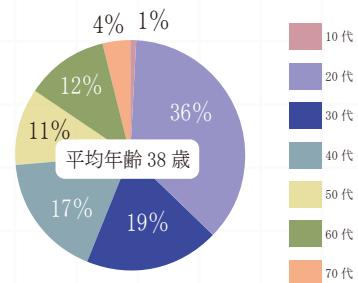


職員情報

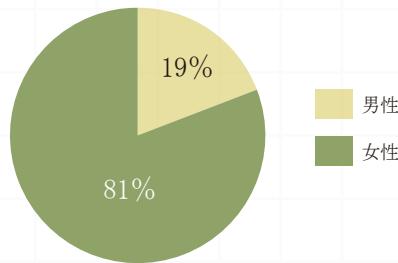
サービス別職員割合



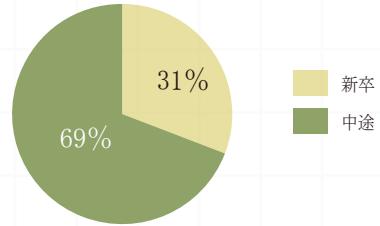
年齢



男女比



入職経路



平均勤続年数

5年3か月

平均残業時間

月平均 1.1 時間
/1人当たり

育児休業取得率

100%
対象者 3 名
取得者 3 名

保有資格について

介護福祉士 35 名
介護支援専門員（主任）10名（3名）
社会福祉士 5 名
保育士 14 名
看護師（准看含む）7名
栄養士 2 名
認知症介護基礎研修 16 名
初任者研修 36 名
管理者研修 13 名
施設長資格 3 名
実務者研修 6 名

- ・新入職員研修
- ・OJT トレーナー研修
- ・リーダーシップ研修
- ・中途職員フォローアップ研修
- ・コンプライアンス研修
- ・感染症対策研修
- ・虐待防止研修
- ・身体拘束防止研修
- ・事故対策研修
- ・褥瘡予防研修
- ・口腔衛生研修
- ・災害対策研修

実施研修

データで見る信和会

行政等調査・監査報告

実施日	2024年9月25日（水）
根拠法令	社会福祉法第56条
対象種別	社会福祉法人
名称	社会福祉法人信和会
実施者	山武健康福祉センター（指導監査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①定款修正 ②理事、監事、評議員及び議事録に関する事項 ③会計に関する事項 ④苦情解決の仕組みに関する事項 ⑤登記の変更に関する事項
- ▶ 対応結果 ①～⑤まで適切に対応済み

実施日	2024年9月25日（水）
根拠法令	介護保険法第24条
対象種別	通所介護
名称	デイサービスセンター上埴生の郷
実施者	山武健康福祉センター（指導監査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①介護保険改定の際には書面に記載し説明の上、同意を得ること。
- ▶ 対応結果 ①適切に対応済み

実施日	2024年9月30日（月）
根拠法令	介護保険法第23条
対象種別	認知症対応型共同生活介護
名称	グループホーム風鈴花 グループホーム風鈴花おおたき
実施者	大多喜町（実地調査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①一部書類の記載漏れ、記録の不備
- ▶ 対応結果 ①適切に対応済み

実施日	2024年10月30日（水）
根拠法令	日本財団助成金規定に基づく
対象種別	子ども第三の居場所
名称	杉の子 kids もばら
実施者	日本財団（実施監査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①年度予算より大きく金額が変動する場合は事前に相談すること。
- ▶ 対応結果 ①適切に対応済み

実施日	2024年11月28日（木）
根拠法令	高齢者の居住の安定確保に関する法律第24条第1項
対象種別	サービス付き高齢者向け住宅
名称	ファミリークラブあかね雲
実施者	千葉県（立入検査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①登録事項の変更 ②住宅規模・構造等
- ▶ 対応結果 ①及び②適切に対応済み

実施日	2024年12月18日（水）
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準に基づく
対象種別	認可外保育施設
名称	杉の子保育園
実施者	山武健康福祉センター（立入検査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 なし
- ▶ 対応結果 なし

実施日	2025年1月15日（水）
根拠法令	児童福祉法第59条1項
対象種別	認可外保育施設
名称	杉の子保育園
実施者	山武健康福祉センター（書面調査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 なし
- ▶ 対応結果 なし

実施日	2025年1月17日（金）
根拠法令	健康保険法第198条1項 厚生年金保険法第100条1項
対象種別	社会福祉法人
名称	社会福祉法人信和会
実施者	日本年金機構（書面調査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①一部書類の再提出
- ▶ 対応結果 ①適切に対応済み

実施日	2025年2月12日（水）
根拠法令	労働基準法第101条第1項等
対象種別	社会福祉法人
名称	社会福祉法人信和会
実施者	茂原労働基準監督署（書面調査）
監査結果	以下のとおり

- 改善を要する事項 ①年次有給休暇について ②最低賃金について
- ▶ 対応結果 ①及び②適切に対応済み

2024年度外部評価等実施状況

※ WAM NET (<https://www.wam.go.jp/>) にて公表済

2024年度外部評価実施事業所

グループホーム上埴生の郷、グループホーム紅ばな、
グループホームあかね雲、グループホームひと結び

2024年運営推進会議を利用した評価実施事業所

グループホーム風鈴花、グループホーム風鈴花おおたき

データで見る信和会

運営推進会議報告

グループホームでは、原則2か月に1回の運営推進会議を開催しています。運営状況や課題、来月の予定などを共有し、利用者様にとってよりよい支援体制づくりに活かしています。

事業所名	形式	主な議題
グループホーム上埴生	書面	入居者様・職員の状況、来月の予定等
グループホーム紅ばな	書面	同上
グループホームあかね雲	書面 / 対面	状況報告、事故報告、家族からの意見等
グループホーム風鈴花 グループホーム風鈴花おおたき	書面 / 対面	同上
グループホームひと結び	書面 / 対面	同上

※グループホーム風鈴花とグループホーム風鈴花おおたきは合同開催

虐待の状況

2024年度、虐待の発生は0件でした。防止に向けて、委員会の設置や職員研修の実施、チェックリストの作成などを通じて、日々の支援体制の見直しとリスク予防に努めています。

委員会活動

褥瘡事故防止、身体拘束虐待防止、感染症災害対策、生産性向上の4分野に分かれた専門委員会を設置し、会議や研修、訓練などを通じて、安全かつ質の高い支援体制の構築を進めています。

委員会名	会議回数	主な活動
身体拘束・虐待防止委員会	4回	指針作成・研修等
褥瘡予防・事故防止委員会	3回	指針作成・研修等
(旧) 感染症対策委員会	5回	指針作成・面会基準作成等 訓練・研修等
(旧) 災害対策委員会	3回	BCP策定・訓練、研修等

身体拘束の状況

2024年度、身体拘束の実施は0件でした。マニュアル整備や日々のケアの見直しを通じて、拘束に頼らない支援体制の維持と職員の意識づけに取り組んでいます。

事故の状況

事業所	転倒	転落	誤飲	その他	合計
グループホーム上埴生の郷 ゆり棟	5	4	0	0	9
グループホーム上埴生の郷 はなみずき棟	4	2	0	2	8
グループホーム紅ばな	7	3	0	0	10
グループホームあかね雲	6	3	0	4	13
グループホーム風鈴花	7	0	0	0	7
グループホーム風鈴花おおたき	3	1	0	1	5
グループホームひと結び	4	2	0	3	9
ファミリークラブあかね雲	24	8	0	3	35
デイサービスセンター上埴生の郷	2	5	1	1	9
デイサービスセンターあかね雲	1	0	0	0	1

それぞれの人生に付加価値を

例えば毎朝、コーヒーを淹れ、その香りを楽しみながら、ゆっくりと目を覚ます。そんな日常生活が失われないよう、ケアサービスの充実を図るとともに、生活にケアプラス ONE の付加価値を提供していきます。

ケア + ? = 多角的視点の獲得

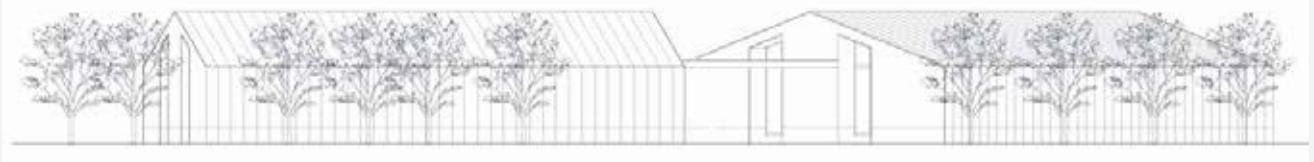
VUCA 時代と呼ばれる現代社会で、変化を受け入れ、成長を続けることが大切です。スタッフ教育に力を入れ、専門性コンピテンシーのみならず、ヨコの専門性を学ぶことにより、多角的視点を獲得し、サービスの質向上に繋げてまいります。

イノベーション文化の醸成

人口減少によって労働力の確保が難しくなる中、少ないリソースでより高度な技術が求められています。そのような状況下で、継続的にイノベーションを生み出す組織基盤を持つことは、法人運営に欠かせません。イノベーションの創発によってシステムを構築し、福祉の未来を変えていきます。

- 新規事業計画 -

茂原市にて新規グループホーム開設予定



「令和 7 年度整備における茂原市地域密着型サービス事業者の公募」採択を受け、信和会通算 7 つ目となる新たなグループホームを茂原市にて開設します。本事業を通じて、高齢化が加速する茂原市の介護需要と住み慣れた街で安心して自分らしく暮らし続けたいというニーズに応え、地域福祉の更なる発展に寄与してまいります。

これまで信和会が培ってきた認知症ケアのノウハウを活かすとともに、あかね雲グループをはじめとした各サービスや地域との連携強化を行ないながら、信和会らしい家庭的で利用者様一人ひとりに向き合いより沿ったサービスの提供を行なってまいります。「地域とつながり、地域のみんなでつくるグループホーム」をコンセプトに、誰からも愛され、必要とされる施設づくりを進めてまいります。

開設予定地：千葉県茂原市庄吉 5-1（茂原街道沿い、ファミリークラブあかね雲より徒歩 7 分）

定員数：2 ユニット（18 床）



事業計画

グループホーム上埴生の郷／グループホーム紅ばな

より良いケアの実現

長南拠点 施設長
介護福祉士



堀越 淳矢 ほりこし あつや

20 年の経験を基に

デイサービスセンター上埴生の郷はご利用者様をはじめ地域の皆様のご支援を賜りまして、今年開設から 20 年を迎えます。当施設は 20 年の経験を基に利用者様への適切な介護サービス提供に努めてまいります。基本の入浴サービス等はもちろん、当施設の強みである余暇支援（施設内外）を活かしたサービスを提供することで、利用者満足度の向上を目指しています。施設内では各種レクリエーションや園芸療法などを行なうことで、手先の機能訓練を実施しております。施設外では定期的なお食事会や、季節を感じていただける様に、春には花見などを企画実施しています。デイサービスセンター上埴生の郷は、稼働率 25% 向上を目指し、引き続き地域の皆様が在宅での生活を継続できるよう、介護サービスを提供してまいります。

「長南町唯一のグループホーム」として地域の皆様に日頃からご支援・ご協力をいただき、今年で上埴生の郷は開設 20 年、紅ばなは開設 14 年を迎えます。

2019 年には大雨の影響で土砂災害が発生し、上埴生の郷・紅ばなの両施設とも被害を受け、一時避難を強いられました。復旧までの数ヶ月間、寝泊まりが出来るところを早急に見つけなければならぬ中、地域の公共施設を使用させていただいたお陰で事なきを得ました。これは他でもなく、地域の皆様のご厚意あってのものです。皆様により一層愛される施設にしていくために、今年度は「職員個々のスキルアップ」に注力し、満足度の高いケアを提供することで利用者様の他施設への移動による退所 0 を目指します。その実現に向けて研修や OJT の取り組みを強化し、若手からベテラン職員まで全員が向上心を持ってスキルアップし、5 年、10 年と長く利用していただける施設を作っていきます。

デイサービスセンター上埴生の郷

管理者 / 生活相談員
介護福祉士



遠藤 万記子 えんどう まきこ

居宅介護支援センター上埴生の郷

管理者
主任介護支援専門員



江澤 保之 えざわ やすゆき

地域に根ざした在宅支援の展開で“自分らしく生きる”を支える

居宅介護支援センター上埴生の郷では、地域の高齢者やその家族の福祉の向上を目的に、地域に根ざした相談支援や実態把握、関係機関等との連絡・調整、ネットワークづくり等の取り組みを進めています。高齢者等の抱える生活課題の解決とともに、誰もが住みなれた地域で安心して暮らす事ができるような地域づくりに向け、地域住民や関係機関とともに連携しながら取り組んでまいります。この為の目標として、①利用者サービスの充実：要介護者等の尊厳を保持しながら、その方の同意の下、心身の状況に応じ適切なサービスを利用ができるよう、関係機関等との連絡調整を行い、利用者及びその家族の「自立と QOL の向上」を目指します。②地域社会との関係性強化：地域ケア会議等を通じ、地域包括支援センターや民生委員等との更なる連携強化を図ります。③生産性の向上：更なる ICT 化を促進し、記録を訪問時に行なう事等、事務作業の効率化を図ります。

事業計画

ファミリークラブあかね雲 / ヘルパーステーションあかね雲

更なる発展を目指して

茂原拠点 施設長
介護福祉士



榎澤 樹 えのきざわ いつき

新しいことに積極的に挑戦する職場づくり

グループホームあかね雲は、職員の平均年齢が30歳前後と若いことから明るく活気があり、また、職員同士で意見やアイデアを出し合い、新しいことに挑戦しやすい環境です。その強みを活かし、ご利用者様が楽しめるようなレクリエーションの実施や介護支援の仕方の工夫、改善などができると考えています。新しい挑戦をすることで、ご利用者様と共に喜びを感じられる機会を増やし、介護支援における気づきのきっかけに繋げていくことができます。

今年度はレクリエーションの内容を定期的に見直し、新しい案を積極的に取り入れるとともに毎日欠かさず実施することで、レクリエーション実施率100%を目指します。

そして「ご利用者様が笑顔で安心・安全に過ごせるような環境を作っていく」「その人らしい生活を送ってもらえるよう思いやりをもって丁寧な福祉サービスを行なっていく」ことを全職員、日々の介護支援を行う上で改めて心掛けてまいります。

デイサービスセンターあかね雲

管理者 / 生活相談員
介護福祉士



時田 麻衣 ときた まい

グループホームあかね雲

管理者
介護福祉士



田村 幸亮 たむら こうた

デイサービスセンターあかね雲が開設されてから今年で2年が経ちました。お陰様でご利用者様も増えておりますが、まだまだ地域の皆様からの認知度が低いのが現状だと感じております。コロナ禍という事もあり、地域の皆様との交流も難しかったのですが、今後デイサービスセンターの2階にある杉の子kidsもばらと連携して、どの年代の方でも気楽に顔を出せるようなデイサービスをつくっていきます。

また、2024年度の稼働率が月平均22.6%でした。今年度は、稼働率平均30%を超えるように、ご利用者様へサービス満足度アンケートを実施し、ご利用者様がどのようなニーズをお持ちなのかを知り、職員間でそのニーズに答えるためには何ができるのかを常に話し合い、結果を基にアップデートし続けるデイサービスを目指していきたいと思います。同時に、ご利用者様に「毎日行きたい」と思ってもらえる事を目標に日々努力してまいります。

事業計画

ケアマネージャーとしての今後の役割を改めて考える

現在のケアマネージャーとしての役割は、昔は誰が担っていたのかなと、ふと考えることがあります。核家族化が進み、隣の住民の顔も知らない世の中。子どもの孤食等、考えれば考えるほど寂しさを覚えますが、今では当たり前。そんな世の中で今後も複雑な問題がさらに多様化していくことが予想され、重層的支援の体制強化が求められています。それに応えるため、普段から多職種との関係を維持し続けていくことや、自身のスキルアップをしていくことが大切だと感じます。

また、認定調査の委託依頼が多くあり、認定適正化のためにもe-ラーニングシステムを活用し定期的に研修を受講することや、ワークサポートケアマネージャーの資格取得に向け視野を広げていくことを考えています。

ケアマネージャーの業務は大変であるというイメージが強く持たれており、その人口が減少しているため、法人内での受験者を増やし、後継の育成にも力を入れていきたいと思います。

居宅介護支援センターあかね雲

管理者
主任介護支援専門員



吉野 教子 よしの きょうこ



グループホーム風鈴花 / グループホーム風鈴花おおたき

大多喜拠点 施設長
介護福祉士



富山 遼平 とみやま りょうへい

地域福祉の未来を担う存在を目指して

法人設立20周年という節目を迎えた信和会ですが、風鈴花は今年で開設13年、風鈴花おおたきは11年を迎えました。人間に例えると中学生になるほどの歳月を大多喜町で過ごしてまいりました。これも地域の皆様に支え育てていただいたお陰だと思います。2025年は所謂「団塊の世代」と呼ばれる方が後期高齢者となり、介護を必要とする方の数が増加する一方、働き手不足が深刻化するといわれる年です。

そのような中で、地域福祉を担う存在として、風鈴花の役割は今後更に重要なものになっていくと考えています。

「風鈴花の成人」を1つの指針として、これまで以上に心技体の面から人材の育成定着に注力していくとともに、地域との交流の機会を増やし、介護を必要とする方がこの土地で安心して暮らし続けられるような施設づくりを進めていきます。

身近で頼れる存在として、地域の皆様に恩返しできるように。2025年をその為の新たな、そして大きな一歩としてまいります。

個別性介護の追求

私たちグループホームひと結びは、開設当初から「ご自宅で過ごされた環境と変わらないよう、温かみのある家庭的な雰囲気」を大切に、ご家族や地域住民が気軽に訪れるができる環境を提供してまいりました。

今年度は、食事・入浴・排泄などにおいて介護士が主体となることなく、可能なかぎり利用者様主体となるよう、「利用者様それぞれに合わせたケアの仕方」について追及します。

ひと結びの利用者様は、リビングでにぎやかに過ごされたい方、お部屋で落ち着いて過ごされたい方と、お一人おひとり過ごしが異なります。

利用者様の個別性を認知する為には、日々の生活について詳しく把握しておかなくてはなりません。日常生活から得られる情報を、カンファレンスや介護計画書に共有・反映させ、より「そのひとらしさ」にこだわった、質の高い介護サービスが提供できるように努めてまいります。

グループホームひと結び

市原拠点 施設長
介護福祉士



中畑 友杜 なかはた ゆうと



事業計画

訪問看護ステーションあかね雲

所長
看護師

渡邊 亜紀子 わたなべ あきこ

より良い保育を目指して

当園は昨年度5周年を迎え、これまで委託をしていた月極保育も信和会の職員で担うこととなりました。新体制でも、保育士比率100%のまま稼働しております。

近年では、地域の方々へブランドイメージが定着し、月極稼働率は毎年、12名定員で100%を実現させており、問い合わせも多くいただける保育園となりました。また、SNSでの園児募集が功を奏し、一時預かり事業についても、昨年度は延べ694人をご利用いただきました。園を知っていただくきっかけにもなっており、園児募集のみならず、求人にも繋がっています。今後もSNSを活用し、保育園の良さをお伝えしたいと思っています。

保育理念『7育（英語・体育・音育・食育・知育・徳育・歯育）を通して、一人ひとりの個性を育む』を念頭におき、小規模保育ならではの一人ひとりに寄り添った保育を提供します。また、保育の質の向上のために、法人内外の研修参加を促進させます。

つながりの中で支える、これからの訪問看護

訪問看護ステーションあかね雲は、「住み慣れたまちで『その人らしく』を支える」という基本理念のもと、地域に根ざした質の高い訪問看護サービスを提供し、ご利用者様の尊厳と暮らしを大切に支援していきたいと考えています。

スタッフの成長を支える研修体制と情報共有体制を充実させ、チームとしての連携力を高めてまいります。今年度は内部研修の継続と共に、外部研修の受講を計画しており、専門性の向上を推進していきます。また、スタッフ間のコミュニケーションを大切にし、支え合える職場環境を築いていきます。ICTの活用による業務効率化のために、現行のシステムを変更しスタッフの働きやすさとサービスの質の両立を図っていきます。

今後も、ご利用者様が「その人らしく」安心して暮らし続けられるよう、信頼される訪問看護ステーションを目指してまいります。

企業主導型保育園 杉の子保育園

保育部事務長

伊藤 美代子 いとう みよこ

子ども第三の居場所 杉の子 kids もばら

管理者
栄養士

田野 いずみ たの いずみ

地域の子どもは地域で育てる 多世代交流を行ない地域コミュニティの輪を広げる

茂原市は単独世帯、核家族世帯（夫婦のみ、夫婦と子どものみ、シングルの家庭）が年々増加しています。頼る祖父母が近くにいる環境でない子ども達が多く、学校終わりに学童に入れず一人で家に居る子どもが全体の4割を占める状態です。さらに居場所が制限され、年々地域コミュニティの希薄化が深刻な問題となっています。杉の子 kids もばらでは、子ども達の居場所づくりや、保護者が一息つけるような空間の提供として杉の子 cafe の運営を行っていますが、今後は子ども達が多くの知識を身に付けられるよう、近隣校を巻き込んだ学習支援サービスを充実させ、また定期的なワークショップの開催を行なうことを考えております。保護者に対しては茂原市子育て支援課監修の下、子どもとの関わり方について質疑応答の時間を設け、心身のフォローができる環境作りに努めてまいります。また、昨年度の来訪者数の1日あたりの平均が8名だったため、今年は平均12名を目標とし、寄付助成を活用しながら多職種との連携を図り、居場所づくりを継続してまいります。

取り組み

仕事と子育ての両立支援



短時間勤務制度や、男女問わず任意のタイミングで取得・復帰できる育児休業制度など、家庭とバランスがとれる働き方を支援しています。ライフスタイルに応じた制度を充実させ、安心して長く働ける環境づくりを目指しています。



当法人が運営を行なう杉の子保育園では、低料金で月極保育・一時預かり保育・病児保育を利用することが可能ですが。身近で働き方に沿った柔軟なサービス提供と家庭的な保育環境が、子育て中の職員の負担軽減と働きやすさにつながっています。

- 寄付・ボランティア -

2023年6月からスタートした子ども食堂は、毎月約30名が利用しています。両親が共働きの子や、シングル家庭の子どもなど、利用者の背景は様々あります。温かいごはんをみんなで囲んで楽しく食べてほしいという想いを掲げ、学生をはじめ、多くの方に運営ボランティアのご協力をいただき、孤食児童の現象を目指し活動しています。また、昨年開催した多世代交流イベント『あかねフェス』や『杉の子まつり』では、「地域に開かれた福祉・多世代交流・地域との協働」をテーマに地域のダンスチームによる演目披露や、高齢者ボランティアと子どもたちが協力して出店を運営するなど、世代を超えた交流が生まれました。



子ども食堂



多世代交流イベント

「既存の制度に捉われない福祉の実践」には、皆様の想いとご協力が欠かせません。

いただいたご寄付は、子ども食堂の運営や地域コミュニティ活性化多世代を繋ぐ様々な取り組みに、大切に活用させていただきます。



ご寄付の方法銀行振込先

金融機関：千葉銀行 茂原東支店

口座種別：普通口座

口座番号：3765976

名義人：(フク)シンワカイ リジチョウ ジギタダ 伴

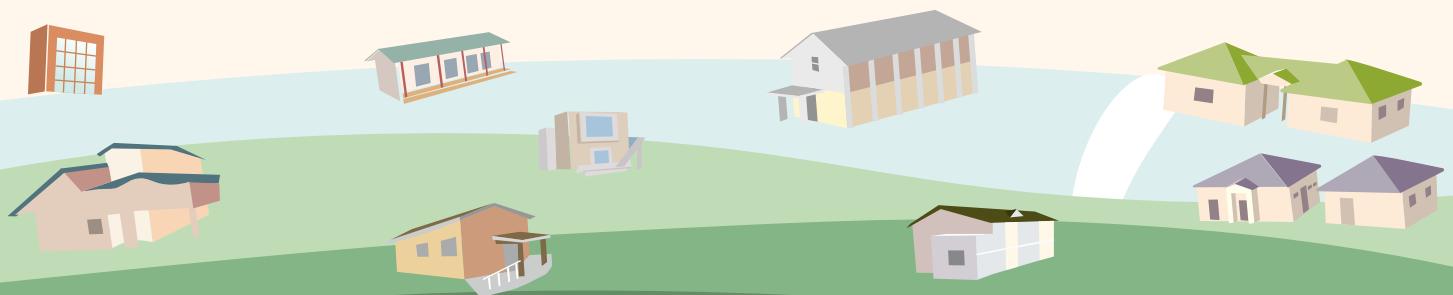
金融機関：房総信用組合 長南支店

口座種別：普通口座

口座番号：2067383

名義人：(フク)シンワカイ リジチョウ ジギタダ 伴

日々のケアを通じて、
明日の福祉の在り方を変え、
暮らしを良くしていく。



社会福祉法人信和会

アニュアルレポート【ハブレポ】2025

発行 2025年7月

〒297-0121 千葉県長生郡長南町長南 1980-2

TEL : 0475-40-5777 FAX : 0475-40-5225

信和会HP



Instagram

